

シルバーカレッジ シラバス (総合芸術コース園芸専攻)

項 目	園芸序論	対象学年	1年	場所	園芸室・フィールド
テーマ	はじめに ―園芸を学ぶにあたって―				
講 師	園芸研究家 阪上 敏行				
<p>講義内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 園芸専攻のカリキュラムについて 2. 園芸とは 3. 園芸の発達 4. 園芸植物 5. 園芸植物の分類 6. 園芸の特徴と領域 <p>シルバーカレッジ農園・フィールド 見学</p> <p>“名前拝借” (樹木類説明)</p>					
<p>講師よりメッセージ</p> <p>園芸専攻の授業が始まるにあたって、序論的に“園芸”を概説します。 午後には農園・花壇フィールドを見学します。</p>					

シルバーカレッジ シラバス (総合芸術コース園芸専攻)

項 目	シリーズ学習	対象学年	1年	場所	園芸室・フィールド
テーマ	<植物を育てる> ①~⑤				
講 師	園芸研究家 阪上 敏行				
<p>講義内容</p> <p>① 二十日大根の特性と栽培のポイント プランター・露地への種まき (実習)</p> <p>② 二十日大根の収穫と調査 栽培の経過報告</p> <p>③ 「植物よもやま話」 <緑の効用>、<植物の体>、<植物の整理>、<栽培管理> 他</p> <p>④ 二十日大根の調査結果の解析 (プランター栽培・露地栽培) サニーレタスの種まき (実習) (育苗カゴに播種)</p> <p>⑤ サニーレタスの実生苗を移植 (ビニールポットに植込) “繁殖” 授業の挿木苗 (活着苗) の移植</p>					
<p>講師よりメッセージ</p> <p>植物に慣れ親しんでもらうための総論的な植物の話題提供と身近な野菜の種まき (直播・移植) による実験栽培を試みます。</p>					

シルバーカレッジ シラバス (総合芸術コース園芸専攻)

項目	基礎知識	対象学年	1年	場所	園芸室・フィールド
テーマ	植物のふやし方				
講師	園芸研究家 阪上 敏行				
講義内容					
1. 有性繁殖					
・種子繁殖					
・胞子繁殖					
2. 無性繁殖					
・分生胞子繁殖					
・栄養体繁殖 (さし木、つぎ木、とり木、株分け、分茎、メリクロン)					
実習					
各種花卉の挿し木					
講師よりメッセージ					
園芸の楽しみは色々ありますが、趣味の世界では特に個体を増やす楽しみが大きいようです。その概論を学び、午後には繁殖法の一つの「挿木」の実習を行います。					

シルバーカレッジ シラバス (総合芸術コース園芸専攻)

項目	シリーズ学習	対象学年	1年	場所	園芸室
テーマ	植物の生育と環境④ 土と肥料				
講師	園芸研究家 阪上 敏行				
<p>講義内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 土の種類 2. よい土とは 3. 園芸用土いろいろ 4. 植物の栄養 5. 肥料要素 6. 施肥の実際 7. 園芸肥料のいろいろ <p>実習</p> <p>樹木の植替</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 植替の目的 ・ ポイント ・ 作業後の管理 					
<p>講師よりメッセージ</p> <p>園芸栽培での基本的な環境要因となる土壌と肥料についての基礎学習をし、午後にはより実践的な手法を学ぶため植物の植替実習を行います。</p>					

シルバーカレッジ シラバス (総合芸術コース園芸専攻)

項目	基礎知識	対象学年	1年	場所	園芸室
テーマ	病害虫とその防除				
講師	園芸研究家 阪上 敏行				
講義内容					
1. 防除に対する考え方 2. 農薬の散布液の作り方 3. 害虫の分類と防除法 4. 病気の分類と防除法					
スライド映写による解説					
講師よりメッセージ					
栽培管理のなかで手をやくのが病害虫対策ですが、「合理的防除論」として効率のよい対策を学びます。代表的な病気・害虫のスライド映写による解説も取り入れます。					

シルバーカレッジ シラバス (総合芸術コース園芸専攻)

項目	基礎知識	対象学年	1年	場所	園芸室
テーマ	花木づくりの基礎知識				
講師	園芸研究家 阪上 敏行				
<p>講義内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 花木の基礎知識 <ul style="list-style-type: none"> ・花芽と葉芽 ・花芽分化期と着生部位 ・花芽分化の条件 2. 花木の管理 <ul style="list-style-type: none"> ・剪定 <ul style="list-style-type: none"> 時期と剪定 着花習性と剪定 3. その他 <ul style="list-style-type: none"> ・花木暦 ・花の色 ・香り (芳香性花木) <p>実習</p> <p>花木類の植替実習</p>					
<p>講師よりメッセージ</p> <p>樹木のなかの人気の高い「花木」を対象にその管理上大切な基礎知識を集約して学習します。午後には実践的手法を高めるために植替実習を行います。</p>					

シルバーカレッジ シラバス (総合芸術コース園芸専攻)

項 目	基礎知識	対象学年	1年	場所	園芸室
テーマ	家庭菜園の基礎知識				
講 師	園芸研究家 阪上 敏行				
<p>講義内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 家庭菜園の目標 2. 野菜の分類 3. 野菜づくりの基礎知識 4. タネの常識 5. 苗づくり「苗半作」 6. 野菜づくりと環境 7. 手入れの実際 8. 葉菜作りのコツ 9. 果菜作りのコツ 10. 根菜作りのコツ <p>DVD 映写による解説 <野菜の病害虫></p>					
<p>講師よりメッセージ</p> <p>菜園管理への対応に必要な基礎知識を総論的に学習します。 午後には DVD 映写により、野菜の病害虫の解説をします。</p>					

シルバーカレッジ シラバス (総合芸術コース園芸専攻)

項目	園芸	対象学年	1年	場所	園芸室
テーマ	まとめと次年度の計画				
講師	園芸研究家 阪上 敏行				
講義内容	一年間のまとめ 次年度の作付け計画の検討				
講師よりメッセージ	一年間の学習のまとめと2年次の圃場実習の作付け計画をクラス全員で検討します。				

シルバーカレッジ シラバス (総合芸術コース園芸専攻)

項 目	シリーズ学習	対象学年	1、2、3	場所	園芸室
テーマ	グループ学習発表会				
講 師	園芸研究家 阪上 敏行				
講義内容 学習結果の発表 講評					
講師よりメッセージ 全学年出席のもと、3年次の圃場での実験栽培結果を「卒業論文」として発表され、テーマ毎に講評します。					

シルバーカレッジ シラバス (総合芸術コース園芸専攻)

項目	校外学習	対象学年	1, 2, 3	場所	諸施設
テーマ	3 学年合同校外学習				
講師	園芸研究家 阪上 敏行				
<p>講義内容</p> <p>訪問施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 咲くやこの花館 ・ 兵庫県立フラワーセンター ・ 兵庫県立淡路景観園芸学校 <p>現地講義受講</p> <p>施設内見学</p>					
<p>講師よりメッセージ</p> <p>各施設での植物の生育の姿を実学習します。</p>					

シルバーカレッジ 講義概要（シラバス）（総合芸術コース園芸専攻）

項目	園芸専攻	対象学年	1年	場所	園芸室
テーマ	花壇での栽培を実践しながら、園芸の土づくり、肥料、農薬などの基礎知識を習得し、秋には秋植え草花の種まきからはじめて、花壇への植え付けも経験します。また、花壇の土の再生も実践します。				
講師	(株)ハイポネックスジャパン 吉田健一				
<p>講義内容</p> <p>■花壇園芸（5講座）</p> <p>1. 花壇づくりの基礎知識</p> <p>① 土づくり(堆肥、石灰類の混合)と肥料(元肥)</p> <p>② 植物の特性を知る(草花類、宿根草、球根類等)</p> <p>③ 植え替えと花壇の土の再生</p> <p>2. 花壇の管理</p> <p>① 季節の管理(梅雨、夏の暑さ、冬の寒さ対策)</p> <p>② 水やり、肥料の与え方(追肥)、病虫害対策</p> <p>③ 花がら摘み、ピンチ等</p> <p>3. 草花類の種まき(秋植え草花)</p> <p>① 種まきの基礎知識(用土、容器、種まきの方法、発芽後の管理、鉢上げ方法等)</p> <p>② 秋植え草花類の特性(種まき時期、覆土、発芽日数等)</p>					
<p>講師よりメッセージ</p> <p>園芸の基本は、植物に接することが大切です。特に、種まきから花壇の植え付け等の実践を通して、園芸の基礎知識を身につけていただきたいと思います。</p>					

シルバーカレッジ 講義概要（シラバス）（総合芸術コース園芸専攻）

項目	園芸	対象学年	1 年	場所	園芸室
テーマ	鉢花づくりの基礎知識				
講師	社団法人フラワースサエティー会長 長村 智司				
<p>講義内容</p> <p>鉢花栽培が派生してきた歴史的な理由、圃場に比べた鉢物・容器栽培の根圏管理の特徴の把握。</p> <p>鉢内用土に生じる土壌の物理性、およびそれに対応した管理の要点を理解する。</p> <p>容器栽培に特徴的な温度、空気の置き変わり、肥料の流亡などを理解する。</p> <p>用土素材の性質と配合比の理解。</p> <p>世界的な標準培養土の成立と性質の理解。</p> <p>用土素材の成立過程の理解。</p> <p>土壌内の空気、特に酸素の重要性、および気相の質の部位ごとの管理方法。</p> <p>植物の違いと水、空気に対する適応性の違いなど。</p> <p>原産地の環境と土壌への適応性の関連の理解。</p>					
<p>講師よりメッセージ</p> <p>具体的な植物の成育環境を理解し、そこから根圏管理を総合的に理解してもらいたい。</p>					

シルバーカレッジ シラバス (総合芸術コース園芸専攻)

項目	植物の生育と環境	対象学年	1年	場所	園芸室
テーマ	植物が環境に適応して育つ仕組みの不思議を垣間見よう				
講師	神戸大学大学院農学研究科准教授 金地 通生				
<p>講義内容 (3回)</p> <p>植物が元気に育つための環境要因について、光、温度、水と養分にテーマを分けて3回のシリーズで解説と屋内実習を行います。午前中の講義では、植物の形の多様性や機能(生長の不思議な仕組み)について深く理解し、午後の実習では、生長にまつわる不思議の理解や、上手な栽培法に役立つための実験や分析も行います。</p> <p>① 光</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 植物にとっての光とは (育つためのエネルギー源であり、情報源でもある) ● 光合成の仕組み (自然の太陽電池?) ● 発芽の仕組み (目に見えない光?) ● 花が咲く仕組み (夏至と冬至が関係する?) ● 葉も日焼けする? ● ポインセチアを一足早く赤く色付かせよう (午後実習) <p>② 温度</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 気温、地温、葉温 (炎天下で熱中症にならないの?) ● 夏野菜と冬野菜 ● 花が咲く仕組み (寒さを経験するのが大事?) ● 美味しさや栄養価も変化する ● チューリップを一足早くクリスマスに咲かせよう (午後実習) <p>③ 水と養分</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 水資源と農業 (耕地の沙漠化が進行している?) ● 植物は水から成る (生長と水の重要性) ● 良く育つ良い土とは ● 土がなくても良く育つ (養分) ● 土の養分を化学的に調べてみよう (午後実習) 					
<p>講師よりメッセージ</p> <p>日々何気なく見ている身近な植物として、花や野菜に科学の目を向けて少し詳しく理解してみた時、不思議な何かが見えてくるだろうか?</p>					

シルバーカレッジ 講義概要（シラバス）（総合芸術コース園芸専攻）

項目	果樹	対象学年	1年	場所	園芸室
テーマ	果樹作りの基礎知識①、②				
講師	果樹研究家 荒木 齊				
<p>講義内容</p> <p>講義はすべてパワーポイントを用いて解説した。</p> <p>①果樹作りの基礎知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・野菜や花の1年生作物と果樹の永年生作物の違いについて解説 ・上記のことを踏まえて 品種、結果習性、枝梢管理、土壌管理、施肥管理および結果習性とせん定について解説するとともに、農場で実習する。 <p>②果樹作りの基礎知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園芸作物、とくに果樹栽培で役にたつ植物成長調節物質（ホルモン）についての効用と利用法について、わかり易く解説するとともに、現場ではどのように影響されているかを農場で見てもらう。 					
<p>講師よりメッセージ</p> <p>庭のある方は、実際に植え、庭のない方は鉢もので経験してもらうことで、興味が出てくるよう仕向けている。</p>					

シルバーカレッジ 講義概要（シラバス）（総合芸術コース園芸専攻）

項目	園芸	対象学年	1年	場所	園芸室
テーマ	在来作物の物語～種から種へつなぐ～				
講師	ひょうごの在来種保存会摂津・三田地区代表世話人 小林				
<p>講義内容</p> <p>京都をはじめとした「伝統野菜」と呼ばれる野菜について、その定義と兵庫県並びに全国的な事例を概説する。さらに「伝統野菜」とは異なる定義をもつ「在来作物」について、ひょうごの在来種保存会の活動内容や世界で起こっている様々な動きについて紹介する。これに関連して、「在来作物」を育んだ品種改良の歴史を栽培植物や農耕の起源、種（タネ）の伝来から概観する。また、日本における品種改良の動きを主に戦後の種苗業界の成立史にもとづいて解説する。さらには、実際の種採りの方法を知るため、品種改良に必要な遺伝学的な基礎、種子の保存方法や採種に関する法的な規制について説明する。</p>					
<p>講師よりメッセージ</p> <p>栽培は種から始まり種で終わります。いつのころからか、私たちは自分で種を採ることをやめ、種苗会社から購入するようになりました。やがて、野菜を作る人と食べる人は分かれ、種の知識を失いました。種や苗はプロの種屋さんの仕事となり、栽培する人は作物の一生を見ず、収穫作業で終わっています。園芸は自分の創意工夫を表現するキャンパスです。種採りから始まる園芸を始めてみませんか。</p>					